

# 闘虎

## No. 7 1 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙  
令和5年 夏季号



# 必ず最後に亜海は勝つ！

## 2023世界選手権代表選考プレーオフ

7月1日、立川ドームにおいて「世界選手権日本代表選考プレーオフ」が行われた。12月の天皇杯全日本選手権では、絶叫の優勝を果たした68kg級・石井亜海（OSA-安部学院高一育英大3年）は、明治杯全日本選抜選手権で、天皇杯の決勝で破っている選手に、準決勝で手痛い敗戦、プレーオフで争われることになった。石井は先制タックルで2ポイントを取ると、その虎の子の2点を死守し、2-1で辛勝。昨年に続き、2年連続で世界選手権出場を決めた。また、12月の天皇杯では敗れ、明治杯でリベンジを果たした57kg級・櫻井つぐみ（育英大3年）もプレーオフで雌雄を決することに。2点ビハインドのまま進み、ラスト2秒で仕掛けたがぶり返しが、チャレンジによって認められ、大逆転勝利。育英大から、3選手が「パリ」をかけて勝負を挑むことになった。

◆発行/群馬県レスリング協会会長 金子博 ◆編集/群馬県レスリング協会広報委員会

# クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第71回

館林商工高校



師に勝つことで恩返し！  
感謝の気持ちを忘れず！

3年 主将 南雲 優音

館林商工高校レスリング部は、部員一人一人が目標を掲げ、それを達成するために日々努力しています。部員は、三年生二名、二年生二名、一年生一名、マネージャー四名です。練習では、長井先生と上野先生が直々に練習に加わり、打ち込み、グランド、スパリングなどを行っています。部員全員が、高校からレスリングを始めた素人集団ですが、長井先生、上野先生は、選手たちの特性に合ったアドバイスをしてくださいます。部員が少ないため、技の反復が練習時間の大半を占めますが、試合で勝つためには、この技の反復練習がとても大切だと思います。実際に試合を重ねるたびに、レスリングが上達していることが実感できます。先輩方には、アジア大会入賞、全国大会で入賞している先輩が数多くいます。私たちも館林商工の伝統を守るため、まずは、部員を確保して団体戦に出場できるようにしたいです。次に、長井先生、上野先生にスパリングで勝ちたいです。私たちが強くなることで、家族や先生方、関係するすべての方々に恩返しができると思います。感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきます。

## SCHEDULE

- 館林市民秋季大会  
9月9日(土)  
千代田町総合体育館
- 国民体育大会  
9月21日(木)~24日(日)  
鹿児島・日置市吹上浜公園体育館
- 全日本女子オープンレスリング選手権大会  
10月14日(土)~15日(日)  
焼津市総合体育館
- 県民総体・群馬県小学生総体  
11月12日(日)  
千代田町総合体育館
- 全国中学選抜レスリング選手権大会  
11月25日(土)~26日(日)  
駒沢屋内球技場



山田 秀樹さん(館林市・51歳)

## レスラーのメンタル

「思い出の一葉」

□この写真は、私が館林高校一年の時、「担任」となられた高田裕司先生の珍しいショットです。高田先生は、館林高校で9年間、教鞭をとられました。担任を務められたのは、私たちが1年8組のときだけです。思い出はたくさんありますが、印象に残っているのは、文化祭です。私たちのクラスは、館林高校正門に、パリの凱旋門を製作しましたが、高田先生は練習後、その製作を夜遅くまで手伝ってくださいました。全クラスで、高田先生が一番、文化祭にも全力で当たってくれたと思います。卒業後、私は早稲田大に進みましたが、同時に、高田先生は山梨学院大学でご指導されることに。私が新人戦の決勝で敗れて、駒沢体育館の通路で高田先生とすれ違いましたが、「山田、もっと攻めなきゃ！」と声を掛けてくれました。観てくれていたんだと、うれしかったですね。

# 玉岡颯斗が「同部屋対決」制し優勝！

## 全日本学生選手権

8月26〜29日、横須賀アリーナにおいて「全日本学生レスリング選手権大会」が行われた。昨年は準Vで、大学初タイトルを狙う玉岡颯斗（OSA―館林高―早大4年）は、決勝戦で4年間、寮の六畳一間で生活してきた選手と対峙。1―1で進む中、最後に4点を獲り、「同部屋対決」を制し優勝を果たした。

- 【フリースタイル】◇125 kg級 ① BATBAYAR NAMBARDAGVA (育英大)
- 【グレコローマン】◇60 kg級 ③ 五



高校2冠だった玉岡颯斗は大学で初タイトル！

- 田楓輝 (育英大) ◇72 kg級 ② 本名一晟 (育英大) ③ 本名帝心 (同)
- ◇82 kg級 ① 玉岡颯斗 (早稲田大)
- ◇87 kg級 ③ 吉澤英 (育英大)
- ◇130 kg級 ③ BATBAYAR NAMBARDAGVA (育英大)
- 【女子】◇50 kg級 ③ 櫻井はなの (育英大) ◇53 kg級 ③ 原田渚 (育英大) ◇55 kg級 ① 清岡もえ (育英大) ② 五味音々 (同) ◇68 kg級 ② 小林久美 (福岡大) ◇72 kg級 ② 藤倉優花 (育英大)

## 元木パリ挑戦権獲得！

### 玉岡が男子唯一の銅！

#### 明治杯全日本選抜

6月15〜18日、東京体育館において「明治杯全日本選抜レスリング選手権大会」が行われた。元木咲良が「世界女王」を破って決勝に進出した選手を破り優勝。天皇杯と明治杯を制したこと、世界選手権日本代表が即、決定した。男子では、玉岡颯斗が唯一、メダルを獲得した。

【グレコローマン】◇82 kg級 ③ 玉岡颯斗 (早稲田大)

【女子】◇53 kg級 ② 清岡もえ (育英大) ◇55 kg級 ③ 五味音々 (育英大) ◇57 kg級 ① 櫻井つぐみ (育英大)



天皇杯、明治杯を連覇し世界に挑む元木咲良

- 英大) ◇62 kg級 ① 元木咲良 (育英大) ◇65 kg級 ③ 平井かえで (育英大) ◇68 kg級 ③ 石井亜海 (育英大) ◇72 kg級 ③ 藤倉優花 (育英大)

## OSAがダブル優勝！

### 小中ともリーグ全勝！

#### 群馬県スポーツ少年団

8月6日、千代田町総合体育館において「第59回群馬県スポーツ少年団レスリング競技会レスリング大会」が行われた。ジュニアの大会唯一の団体戦で、陣容豊富なOSAが「小中ダブル優勝」を果たした。

【小学生】① OSA ② 明和クラブ ③ リトルタイガー

# HERO'S IN GUNMA



## 玉岡 颯斗 選手 (早稲田大学)

4年間、同部屋で苦学を共にしていた山倉選手は、最後は自分と戦いたいとグレコにもエントリーし、実際、インカレの決勝という最高の舞台で戦えたのがうれしかったです。優勝した瞬間は、支えてくれた家族や仲間、指導してくれた先生方に感謝の気持ちでいっぱいになりました。群馬のチビッコの皆さん、レスリングは楽しいスポーツです。自分を超えるレスラーの誕生を楽しみにしています。

## 大間々女子2選手銅！

### パレイ躍進メダル4！

#### 全国少年少女大会

7月29〜30日、四日市市総合体育館において「第40回全国少年少女レスリング選手権大会」が行われた。パレイストラ2選手が決勝進出し、4選手がメダル獲得。また、大間々クラブから女子2選手が銅メダルを獲得した。

【女子6年】◇30 kg級 ③ 佐藤心美 (大間々) ◇48 kg級 ② 刈谷萌々香 (OSA)

【女子5年】◇36 kg級 ② 平崎茉結 (PALAISTRA) ◇40 kg級 ③ 鳥居希子 (PALAISTRA)

## 中里優斗待望の優勝！

### ぐんまの若井も優勝！

#### 東日本学生選手権

6月28日、駒沢公園体育館において「東日本学生レスリング選手権大会」が行われた。中里優斗 (OSA―市太田―中大3年) が大学初タイトルを獲得した。

優勝者は次のとおり。

【新人戦フリースタイル】◇125 kg級 BATBAYAR NAMBARDAGVA (育英大)

- 【4年】◇30 kg級 ② 小林桂士 (PALAISTRA)
- 【3年】◇28 kg級 ③ 辻徹平 (PALAISTRA)
- 【女子3年】◇28 kg級 ③ 天田椎菜 (大間々)

## 新鋭・輪太郎第2位！

### 選抜3位の西原は銅！

#### 関東高校レスリング大会

6月3〜4日、彩の国くまがやドームにおいて「関東高校レスリング大会」が行われた。鳥居輪太郎が1年生ながら決勝まで進み、前橋育英初の関東メダル獲得となった。

【グレコローマン】◇80 kg級 ② 鳥居輪太郎 (前橋育英) ③ 西原丈陽 (館林)

【女子】◇47 kg級 ③ 村田悠夏 (西邑楽) ◇50 kg級 ③ 横尾瑠衣 (西邑楽) ◇74 kg級 ② 村田悠芽夏 (西邑楽)

## 和田三志郎着実成長！

### 県内で唯一のメダル！

#### 全国中学生選手権

6月10〜11日、アダストリアみと

## 館林高8年ぶり8強！

### 山口と西も8強入り！

#### 北海道インターハイ

8月3〜4日、札幌市・真駒内セキスイハイムアイスアリーナにおいて「第70回全国高校総体レスリング競技会」が行われた。団体戦で、館林高が8年ぶり8強進出、個人でも、同校の55 kg級の山口想成と125 kg級の西エリキが8強入りを果たした。

## 育英選手世界で活躍！

### 新井一花は銀メダル！

#### U20アジア・世界選手権

7月15〜16日、ヨルダン・アンマンにおいて「U20アジア選手権」が、また、8月16〜18日、同所で「U20世界選手権」が行われ、育英大の選手が次のとおり、メダルを獲得した。

【U20アジア・グレコローマン】◇97 kg級 ③ 佐々木優太 (育英大)

【U20世界・女子】◇55 kg級 ③ 清岡もえ (育英大) ◇57 kg級 ② 新井一花 (育英大) ◇72 kg級 ③ 藤倉優花 (育英大)

# なでしこGUNMAのレスクイーン



明和クラブ スローター舞空さん (中1)

私がレスリングを始めたのは、アメリカにいたとき、お父さんが通っていたスポーツジム (UFCジム) にケージファイト用のケージがありました。そこで、キッズクラスの体験教室があり、楽しそうだったので参加したのが、きっかけです。私はレスリングを通して、言葉の壁を越え、みんなと仲良くなれました。そんなアットホームなところが、レスリングの良いところだと思います。今は、試合でなかなか勝てないので、つらい時期もありますが、将来は、オリンピックの代表になること、そして、小さい子どもにレスリングを教えること。これが、私の夢です！